

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 96 9月号

2013年9月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

読書と私 No.88

「本と子ども」

龍野町 紙名 麻有

「図書館行く人は？」と私が聞くと、「走らない！キャー言わない！」と答える2人。この約束を確認し、5歳の息子、3歳の娘と図書館へ行くのが今では毎週のこととなっている。

行き始めた頃は、走ったりして注意しても止めず、すぐに帰ってくる事もよくあり、行くのを躊躇^{ちゆうちよ}していた時期もあった。しかし、子どもには幼い頃から本を身近なものにしたいという思いがあったので、してはいけない事を繰り返し教えて通い続けるうち、興味を持ち始め自分で本を選ぶようになった。

借りる本のほとんどを子どもに任せていると色々な発見がある。適当に手に取っただろう本が思いがけず素敵なお話だったり、つながりのある数冊（全ての本にうさぎが登場するなど）を持ってきたり、年齢に合わないような少し難しいかなと思う絵本でも気に入って何度も「読んで」という本になったり…。

今、息子は昆虫や魚に夢中で、図書館に着くと一目散にそのコーナーへ向かう。いつも必ず5、6冊は昆虫などの本を借りて帰り、それらに全く無知な私は息子と一緒に「へえー」と驚きで目を丸くしながら見ている。

娘はいくつかお気に入りの絵本ができ、読んでいる間「大きい！」とか「なんで？」など、絶えず喋りながらもお話を楽しんでいる様子。

寝る前の時間は絵本のおかげで親子で同じ世界を覗いてワクワクできる穏やかなひとときとなっている。

今や本は子どもたちの毎日に欠かせないものになっている。これからも、楽しみながら色々な本を手にする機会を与えてあげたいと思う。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『私が日本人になった理由』 ドナルド・キーン 著 PHP研究所



本書は日本文学の研究者、ドナルド・キーン氏へのインタビューを書籍化したものである。

文学を通して日本人の美意識を見つめてきたキーン氏は、その原点を銀閣寺に見出した。初めて銀閣寺に行った際には、

金閣寺と比べ大したものではないと書かれていた外国人向けの京都案内とは異なり、非常に感動したという。それは、確かに綺麗であるとは思ったが、美的な感銘よりむしろ感覚的な違和感がないことをはっきり意識し、氏がそれまで見た日本人の家、料亭や旅館を含めた建造物の大元にいるように感じたという。

今、東京や京都で一流の料亭に行けば、まるで銀閣寺にあるような部屋が自然に再現されている。す

なわち、床の間や生け花に墨絵、そして部屋の延長としての庭…。日本の文化、日本の伝統が語られる時、銀閣寺を代表とする東山文化が対象になっていることが多い。東山文化以前の『源氏物語』で描かれた世界を例にとれば、それがどれほど美しくても、平安時代のたたずまいは、現代の日本の伝統や生活様式とはかけはなれた世界であり、現代で言う日本的なものには未だ達していない部分が多かったと、氏は語る。

東日本大震災直後、被災地の懸命に生きる人々の姿を見て、「この人々と共に生き、共に死にたい」と、日本国籍取得を表明したことが記憶に新しいキーン氏、「文学が内包する力は非常に強靱」「今回の東日本大震災を記憶し、将来に伝えんとする文学がいつか生まれるのではないか、生まれて欲しいと願っています」という言葉が非常に印象に残る。生まれながらの日本人が忘れがちな日本文化や文学の魅力を思い起こさせる1冊。(御津図書館 西田つ)

トピックス

デイジー・拡大読書器をご存知ですか？

デジタル録音図書DAISY (デイジー) とは？

デイジーはデジタル音声の録音図書再生機です。章・節・項の頭出しや読みたいページへのジャンプなどができるとても便利な機能がついています。

視覚障がい者や高齢で文字を読むことが困難な方のために、カセットに代わる録音図書として利用されています。



(デイジー再生機は貸出もできます。)

拡大読書器とは？

本や新聞の文字の大きさを自由に変えてモニターに写す機械で、弱視の方はもちろん、高齢で文字が読みにくくなってきた方にも便利にご利用いただけるものです。

カラー・白黒・白黒反転などのモードがありコントラストも自由に変えられます。

龍野図書館で利用できます。詳しくは 龍野図書館まで ☎62-0469

おすすめする子どもの本・89

『三びきのこぶた』 イギリス昔話 瀬田 貞二 訳 福音館書店

3びきのこぶたが、お母さんから離れて、それぞれ暮らすことになりました。初めに出かけたこぶたは、わらの家を建てました。そこにおおかみが「おれをいれとくれ」とやって来ました。こぶたが断ると、おおかみは「ふうふうのふっ」と家を吹き飛ばし、こぶたを食べてしまいました。次のこぶたは木の枝で建てましたが、また同じように食べられてしまいました。3番目のこぶたが建てたれんがの家は、おおかみがどんなに力んでも吹き飛びません。

そこでおおかみは、いいかぶ畑があるから一緒に行こう、と持ちかけますが、こぶたは早起きして先回り。おおかみが来る前にたくさんのかぶを担いで家に戻りました。りんごをとりに行こうと言われても、お祭りに誘われても、こぶたは約束の時間よりずっと早めに出かけました。怒ったおおかみは、こぶたをたべてやろうと煙突から降り

ていきましたが、その下ではこぶたが大鍋に水を入れ、火を焚きつけていました。おおかみが鍋にどぼんと落ちると、こぶたはさっとふたをかぶせ、ことごと煮て晩ご飯に食べてしまいました。

表情豊かに描かれたこぶたが、知恵を働かせておおかみをやっつける結末に深い満足と安心感を得ます。読んであげるなら4歳から。

(新宮図書館 梅村)

『スプーンおばさんのぼうけん』 アルフ＝プリョイセン作 学習研究社

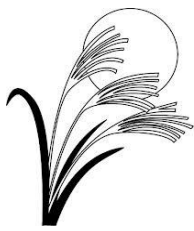
スプーンおばさんは、ノルウェーのいなかに住んでいるふつうのおばさんですが、時々急にティースプーンみたいに小さくなってしまいます。

ある日おばさんは、子どもたちが水泳をしているのを見て、自分もあんなふうに泳げるはずだと考えます。まず、椅子に腹ばいになって水なし泳ぎで練習したあと、浅い沼に行って、威勢良く水に飛び込みました。ところが、そのとたんおばさんはティースプーンみたいに小さくなりました。おばさんが、「あたし、おぼれて死んじゃう」と叫ぶと、1匹のカエルが浮かび上がっておばさんを背中に乗せてくれました。そして、おばさん

は世界一の水泳の先生のカエルから平泳ぎを、オタマジャクシから背泳ぎやクロールを教わり、水泳がすっかり得意になりました。最後に、「とびこみ」を習おうと岩を蹴ったとたん、おばさんは元の大きさに戻ります。（「おばさん、水およぎをおぼえる」）

また、翼を傷めた子ガラスを助けてやりますが、キズが治っても手放す気になれず、1日、1日と先に延ばしているうちに、またもや小さくなってしまいます。おばさんは、怒ったカラスたちにさらわれて、カラス会議にかけられ、何日間も閉じ込められそうになりました。（「おばさんとカラスの子」）他に、探偵になってジャガイモどろぼうをつきとめたり、ブローチを探したりと、いつも元気なおばさんは、動物や子どもたちに愛情たっぷり、小さくなくてもうまく切り抜ける度胸と機転が楽しく、引き込まれます。

小学3年生くらいから。（龍野図書館 藤川）



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	9月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	14日 『おおきなかぶ』他
	●子どもの本を読む会	一般 ----- 第2木曜日(10時～11時30分)	12日 『奇蹟の画家』後藤 正治著
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	13日 『光線』村田 喜代子 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第2月曜日(11時～11時20分)	9日 『よういどん』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(11時～11時30分)	7日・14日・21日・28日 「かしこいモリー」他
	英語教室「ポケモンで英語にタッチ！」 大好きなポケモンで英語にふれてみませんか？ 参加お待ちしております。 【対象】小学3年生～6年生 20名(要申込)※先着順 【日時】8日(日)14時～15時		
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	14日・21日 『もりのなか』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	14日・21日 「三びきのやぎのがらがらどん」他
	読書会	一般 ----- 第3金曜日(10時～12時)	20日 『武家用心集』「向椿山」より 乙川優三郎 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	8日・15日 『ちいさなヒッポ』他
	読書会	一般 ----- 第1火曜日(13時30分～15時30分)	3日 『阪急電車』有川 浩 著